

沿岸圏域の重要課題である「Ⅰ 主要産業の振興」及び「Ⅱ 自然減・社会減対策」に広域振興事業により、「Ⅲ 安全・安心な地域づくり」に本庁予算の活用及び地域経営推進費により、重点的に取り組みながら、地域振興プラン(第2期)に掲げる施策を着実に推進

## 重要課題

### Ⅰ 主要産業の振興

#### 1 海洋環境の変化に対応した水産業の推進

海洋環境の変化による主要魚種の不漁、養殖生産量の減少に対応した水産業の生産体制を構築し、生産量の回復を図る必要

#### 2 水産加工業の振興

エネルギー価格・物価高騰、主要魚種の不漁などの影響により厳しい経営環境にある水産加工業者等の経営力の強化を図る必要

### Ⅱ 自然減・社会減対策

#### 1 移住定住等の促進

沿岸圏域における喫緊かつ重要な課題である人口減少について、市町村や関係団体等と連携し、移住定住等の促進による社会減対策の取組を講じる必要

#### 2 交流人口・関係人口の拡大

「みちのく潮風トレイル」への注目度の高まりも契機に、地域資源を生かした交流人口・関係人口の拡大に取り組む必要

### Ⅲ 安全・安心な地域づくり

急増する鳥獣被害への対策、防災・減災対策の推進等により安全・安心に生活できる地域づくりを進める必要

## 広域振興事業による対応

### 1 海洋環境の変化に対応した養殖の推進

いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業費 5,608千円

- (1) 既存養殖種(ホヤ、マガキ)の養殖方法を改良
- (2) サーモン養殖の拡大促進

### 2 水産加工業等の振興に向けた経営力の強化

いわて三陸水産加工業等経営力強化事業費 2,477千円

水産加工業者等への経営支援の強化

### 3 市町村と連携した三陸への移住定住等の促進

いわて三陸地域連携移住定住等促進事業費 3,015千円

- (1) 情報発信の強化
- (2) 移住定住を促進するための支援態勢の強化

### 4 地域資源を生かした交流人口・関係人口の拡大

いわて三陸交流人口・関係人口拡大推進事業費 1,415千円

三陸が「く」やみちのく潮風トレイルの魅力を生かしたイベントの開催

計 12,515千円

### ○ 本庁予算及び地域経営推進費により対応

- (1) 鳥獣被害対策
- (2) 防災・減災対策、震災教訓の伝承

# [主要産業の振興]

## 1 海洋環境の変化に対応した養殖の推進

いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業費

5,608千円

新規



### (1) 既存養殖種の養殖方法の改良

#### 【概要】

高水温に対応し、病虫害に強いホタテやマガキの養殖モデルを構築するため、養殖試験等を実施する。

#### 【事業内容】

- ① **高水温に対応したホタテ養殖モデルの構築** 新
  - ・大型種苗の半成貝(※)を用いた高水温期を回避するホタテ養殖モデルの実証試験の実施  
※稚貝から半年ほど成長した貝
- ② **3倍体マガキ(※)を利用した養殖モデルの構築** 新
  - ・病虫害(卵巣肥大症)に強く、高水温下での生存が高いとされる3倍体マガキの導入試験の実施  
※染色体を通常の2組ではなく3組持つマガキ

○ 令和5年度の高水温によるホタテへい死状況

地区	漁場数	へい死数				
		3割未満	3割以上 5割未満	5割以上 9割未満	9割以上	不明
久慈	7	0	1	6	0	0
宮古	21	0	4	16	1	0
釜石	5	0	0	1	1	3
大船渡	8	1	2	2	2	1
合計	41	1	7	25	4	4

### (2) 新規養殖種(サーモン)の拡大促進

#### 【概要】

県産サーモン養殖の拡大を図るため、種苗生産期間を短縮するための技術開発や、販路拡大のためのキャンペーンに取り組む。

#### 【事業内容】

- ① **サーモン養殖の拡大促進**
  - ア **種苗生産期間を短縮する技術開発**
    - ・種苗生産量の拡大に向け、産卵時期の調整や塩餌の投与により種苗生産期間を短縮する実証試験の実施
  - イ **サーモンPRキャンペーン**
    - ・サーモンの消費拡大に向け、PRキャンペーン等の実施



サーモン試験(体重体長の測定)



県内量販店(ベルジョイス)におけるPRキャンペーン(R6年6月)

## 2 水産加工業等の振興に向けた経営力の強化

いわて三陸水産加工業等経営力強化事業費 2,477千円 一部新規



**【概要】** エネルギー価格・物価高騰、主要魚種の不漁等により厳しい経営環境にある水産加工業者等の経営力の強化を図るため、大手コンサルティング会社と連携した経営支援や、支援機関との連携強化に向けた取組を実施する。

### 【事業内容】

#### 大手コンサルティング会社との連携による経営支援

##### ① 個社別経営指導

- ・ PwC Japanグループと連携し、水産加工業者を重点に、個社別に企業経営に関する指導を実施
- ・ 指導に当たっては商工団体等の支援機関が伴走し、指導後の継続的なフォローアップを実施
- ・ 指導事業者数 [R6]9者、[R7]10者（予定）
  - ▶ 会計相談  
経営指標の見える化、在庫管理等企業財務の改善
  - ▶ 経営相指導  
マーケティングや商品開発・販路開拓に関する助言
  - ▶ 税務相談  
税務に関する個別指導、事業承継に係る税務指導

##### ② 企業経営必須講座&グループ・個別相談会 **新**

- ・ 原価管理等の企業経営に必須の知識を学ぶ講座の開催
- ・ 講座と併せて、支援が必要な企業と支援機関とのマッチングを図るためのグループ・個別相談会を開催

##### ③ 支援態勢強化セミナー

- ・ 支援機関が事業者を継続してフォローアップするため、支援態勢の強化に向けたセミナーを開催

### 支援例

#### [水産加工業（R6会計相談）]

「資金繰りを担当者のみで管理しており、次の世代へ継承するため可視化が必要」との課題に対し、リアルタイムで資金繰りが見える資料（資金繰り表・支出伝票等）を作成。これまで資金繰りに関係なく仕入れや開発を行っていたが、見えるようになったことで経理側の視点からも考えるようになり、円滑な資金繰りと作業効率化につながった。



会計指導の様子

### 3 市町村と連携した三陸への移住定住等の促進

いわて三陸地域連携移住定住等促進事業費 3,015千円

一部新規



**【概要】** 人口減少対策として、沿岸圏域の移住定住人口等の増加を図るため、管内9市町村と連携し、移住定住等の促進に関する情報発信や支援態勢の強化に向けた取組を実施する。

**【事業内容】**

**(1) 情報発信の強化**

- ① 各種広報媒体を活用した情報発信  
県・市町村等の各種広報媒体等を活用した情報発信
- ② いわて沿岸圏域しごとの情報発信 **新**  
移住前のキャリアを生かして活躍しているU・Iターン就職者の紹介など「沿岸圏域で働きたい」と思ってもらえるガイドブックを作成
- ③ 沿岸圏域移住体験ツアーの開催  
移住希望者等を対象に、現地での暮らしや仕事の状況、地域の魅力である観光要素を含めた移住体験ツアーを開催
- ④ 首都圏で開催の移住イベントへの「いわて沿岸圏域ブース」の出展 **新**  
首都圏で開催される移住イベントに、管内市町村と連携して「いわて沿岸圏域ブース」を出展し、沿岸圏域への移住定住PRを実施

**(2) 支援態勢の強化**

- ① 移住コーディネーター交流会の開催  
沿岸圏域の移住コーディネーター同士の横のつながりの構築とスキルアップを図り、移住希望者等からの相談対応をより円滑に行うことができるようにするための交流会を開催
- ② 沿岸広域振興局と管内市町村の連携強化  
管内9市町村「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」及び担当者ミーティングにより、連携して行う事業の内容調整や、実施した事業の振り返りに基づく次年度事業の検討等を実施

<各圏域の人口の状況>

圏域	平成23年3月			令和6年3月			震災以後の増減率		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
県央	481,369	229,440	251,929	449,846	214,159	235,687	▲ 6.5	▲ 6.7	▲ 6.4
県南	505,872	243,449	262,423	444,314	218,049	226,265	▲ 12.2	▲ 10.4	▲ 13.8
沿岸	216,848	102,532	114,316	163,989	79,289	84,700	▲ 24.4	▲ 22.7	▲ 25.9
県北	122,554	57,843	64,711	97,385	46,386	50,999	▲ 20.5	▲ 19.8	▲ 21.2
計	1,326,643	633,264	693,379	1,155,534	557,883	597,651	▲ 12.9	▲ 11.9	▲ 13.8

出典：国勢調査、毎月人口推計



R6 移住体験ツアーの様子



R6 移住コーディネーター交流会の様子

# [自然減・社会減対策]

## 4 地域資源を生かした交流人口・関係人口の拡大

いわて三陸交流人口・関係人口拡大推進事業費 1,415千円 **新規**



**【概要】** みちのく潮風トレイルへの注目度の高まりを好機と捉え、三陸ジオパーク等の三陸ならではの地域資源を活用し、地域の交流人口・関係人口の拡大に取り組む。

### 【事業内容】

#### フォトロゲイニング大会の開催

- ・三陸防災復興プロジェクト2019のレガシーを継承し、三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の地域資源を生かしたコースによりフォトロゲイニング大会を開催することで、沿岸地域の魅力を発信するとともに、新たな観光コンテンツとしての定着を推進

#### 前回（R6年度）の開催状況 ※県北局開催

- ・日程：令和6年9月16日（月・祝）
- ・場所：洋野町 ・参加者数：136人

■圏域別観光客入込数（延べ人数） (千人回)

	R元年	R3年	R4年	R5年	R元年比	R4年比
全県	29,213	15,601	18,333	23,858	82%	130%
県央	9,681	4,581	5,417	7,607	79%	140%
県南	11,511	6,100	7,087	9,229	80%	130%
沿岸	5,350	3,173	3,783	4,201	79%	111%
県北	2,670	1,747	2,045	2,822	106%	138%

（出典：令和5年版岩手県観光統計概要）



R6フォトロゲイニング大会の様子

### [その他の重点事項]

政策推進プランに掲げるその他の重点事項、「GXの推進」、「DXの推進」についても、地域経営推進費等を活用し推進